



MR.SHA-MAN POST しゃ~まん通信 VO.10

2022年度上半期累計新車販売ランキング発表!栄えある1位は

デッドヒート!わずか2625台の僅差でトップを飾ったのはやはりあの車

自販連(日本自動車販売協会連合会)と全軽自協(全国軽自動車協会連合会)から、2022年9月単月の車名(通称名)別新車販売 ランキングが発表され、それと同時に2022事業年度締め上半期(2022年4月~9月)の新車販売ランキングも発表されました。 登録車と軽自動車の販売ランキングを合算すると、2022事業年度締め上半期にもっとも売れた新車はホンダN-BOXとなりまし た。新型コロナウイルスや半導体不足などで思いどおりに新車を生産できないなか、2位のトヨタ・ヤリスにわずか2625台の僅差 というデッドヒートでのトップです。

この2車のデッドヒートはいまに始まったわけではなく、2021事業年度締め年間販売台数(2021年4月~2022年3月)ではN-BOX、2021事業年度締め上半期販売台数(2021年4月~9月)と2020事業年度締め年間販売台数(2020年4月から2021年3月)で はヤリスがトップになっています。

ミニバンクラスでは、初めてホンダのフリードが販売台数首位に。親しみやすいデザインと5 ナンバーサイズの扱いやすいコンパ クトなボディーのフリードは、広い室内空間と多彩なシートアレンジを実現したコンパクトミニバンとして人気を集めており、 2021年7月にはシリーズとして累計販売台数100万台を突破していました。

軽自動車では5位のスズキ・スペーシアと8位のダイハツ・タントとの販売台数差が1万台強となっています。タントは10月3日に 改良を行うとともに、派生モデルとなるタント・ファンクロスが新規設定されました。その外観を見てもわかるとおり、これはス ペーシアギアのライバルとなるのは誰が見ても明らです。

首位はN-BOXかヤリスか、はたまた違う車なのか。大きな順位変動はあるのか、年間販売数発表も見逃せません。



今回ミニバンクラスで初めて1位を獲得したフリード



N-BOXを追うスペーシアシリーズ



2021事業年度締め年間販売台数に続き上期も1位を獲得



TOPとのデッドヒートを繰り広げたヤリス&ヤリスクロス

特に屋外でお車を保管される方におすすめです



優れた防汚性で愛車を綺麗に保ちます

愛車の美しさが復活!未塗装樹脂コート新登場

特殊なガラスコーティングで汚れの付着も防ぐ!

クロスビーやハスラー、ラパンなど様々な車種の一部には、塗装されていない樹脂 のパーツが使用されています。乗っているうちに、その樹脂パーツの艶がなくなっ てきて白っぽくなり、車体をいくらガラスコーティングで艶々にしても車の使用感 がでてしまうこともしばしば。なぜこの現象が起きるかというと、素材が太陽によ る紫外線や熱に弱いことが大きな原因です。

そこで登場したサービス新商品が「未塗装樹脂コート」。特殊なガラス系のコーテ ィングで、紫外線等のダメージでできた樹脂表面の細かな凹凸を埋め、凹凸がなく なることで光の乱反射を防ぎ、未塗装樹脂パーツの黒さを復活させます。さらにこ のコーティングにより、フェンダーやバンパー等の汚れが目立ちやすい黒い樹脂部 分を、泥汚れなどから守ることでクルマをきれいに保つことができます。1回の施工 で効果は約1年持続します。作業時間はスモールクラスなら25分、ラージクラスな ら40分ほど。希望小売価格は6,600円~9,900円です。ぜひこの機会に愛車を新車の ころのように美しくしませんか。

また、これからご納車する新車にも施工が可能です。未塗装樹パーツの黒さに深み を出し、さらにその黒さを維持することができます。新車の場合価格が変わります が、効果の持続は約3年。ボディコートを施工する車でも問題なく施工できます。 これからお車を購入する方も、既にご契約いただいている方も、今の愛車に施工し たい方も、どなたでもご興味がありましたらお気軽にお声かけください。













SERENA

COMING SOON!





EASY さらに使いやすく!



運転がさらに楽しく

CONNECT

移動をさらに快適に

FUN



新型セレナ発表秒読み!?グレードラインアップも判明!

最上級グレード新登場?詳細が少しずつ明らかに

日産自動車で発売されているミニバン「セレナ」が、まもなくフルモデルチェンジされることがわかりまし た。発表日や発売日はまだ公開されていませんが、詳細が少しずつ入ってきましたのでお知らせいたします! 新型セレナは今秋にガソリンモデルが登場し、来春にe-POWERモデルが追加されるという二段構えの動きに なることがわかりました。また、グレード体系も判明。ガソリンモデルでは2WD・4WDで5ナンバーのスタン ダードグレードと3ナンバーのハイウェイスターグレード、e-POWERモデルでは2WDのみ、5ナンバーのスタ ンダードグレードと3ナンバーのハイウェイスターグレード。さらに今回新型セレナでは装備や質感共に最上 級のグレードがe-POWERに用意されるそうです。

新型セレナのテーマは"BIG""EASY""FUN""CONNECT"。「車内がさらに広く」「さらに使いやすく」「運 転がさらに楽しく」「移動をさらに快適に」ということのようです。今までもミニバンMクラスとして1番の 広さを誇っていましたが、新型セレナではさらに進化すうようです。また、今までe-POWERモデルは7人乗り 設定のみでしたが、ガソリンモデルと同じく8人乗りが可能に。また車酔いのしにくさを追求、狭い場所でも 開くハーフアップドアをさらに使いやすくし、より快適に。また、ノートで使われている第2世代e-POWERを 搭載するなど、様々な進化ポイントがあるようです。

外観・内装はまだわかっていませんが、こちらももちろん刷新される模様です。

ノア/ヴォクシー、ステップワゴンに続くミニバンのフルモデルチェンジ。今から発表が楽しみですね。

グレードラインアップ

ガソリン車(2WD/4WD)

今秋発売予定

e-POWER(2WD)

来春発売予定

5ナンバー

3ナンバー

5ナンバー

3ナンバー

● ハイウェイスター

● スタンダードタイプ ● ハイウェイスター

■ スタンダードタイプ

● 最上級グレード 新設定

アート×自然×建築 经非沢千住博美術館

軽井沢千住美術館



住所:〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉815 定休日:火曜日/冬季休館 営業時間:9:30~17:00 入館料:一般1500円・学生1000円 中学生以下無料

軽井沢千住博美術館は、軽井沢の南のバイパス沿いに2011年オープンした 美術館です。世界的に人気のある現代日本画家、千住博さんの作品を約 100点所蔵展示する個人美術館ですが、建築界のノーベル賞「プリツカー 賞」受賞の俊英、西沢立衛さんの設計による建物とのコラボレーションで 美術館内外ともに、素晴らしい景観を演出しています。

遮光やセキュリティのため暗い閉じた空間の既存の美術館に批判的な千住 博さんの意向で、周囲の自然や地形と一体となっている総ガラス張りで床 も含めて曲面を多用した建築で、型破りな美術館です。

千住 博さんは1958年生まれの日本画家で、現在ニューヨークに住み、日 本画の魅力を海外に伝え、人気があります。代表作の「ウォーターフォー

ル」は、白い背景に墨で滝を表現する手法で有名です。



滝のアートたちは自然を感じられ、心が落ち 着き洗われるような、非常に美しく時間が経 つのを思わず忘れてしまうほど。

絵画や建築だけでなく、6万株の樹木や草花に よる「カラーリーフガーデン」も素晴らし く、軽井沢らしい美しい環境です。私は昨秋 に訪れましたがとても紅葉が綺麗でした。ま た、老舗ベーカリー「ブランジェ浅野屋」や ミュージアムショップも併設しており、美術 館内外を散策しながら至福の時間を過ごせま す。ぜひお出かけください。







ダンブレー非はどう使うのが正解?

静岡県で観光バスの横転事故が発生し、ニュースなどで大きな話題になりました。

さらに報道では、事故の要因として「フェード現象」が起きた可能性があると伝えられていますが、このフェード現象とはど のようなものなのでしょうか。また、フェード現象を避けるにはどのような対策があるのでしょうか。

クルマの運転時、減速したいときに使うブレーキの種類として、フットブレーキとエンジンブレーキがあります。フットブレーキはブレーキペダルを踏んで減速するブレーキを指し、交差点で完全停止するような場面をはじめ、街なかを中心に常用さ れています。しかし、フットブレーキには、長い下り坂などで多用しすぎたときに、フェード現象が起きるリスクがあるとい う弱点もあります。

フェード現象とは、長時間フットブレーキを踏んだときの摩擦熱によりブレーキパッドにガス膜が発生。 これがローターとの 間に入り込むことによって摩擦力が落ち、ブレーキが効きにくくなる現象を指します。ちなみに、フットブレーキの多用しすぎによりブレーキフルード(ブレーキ液)が沸騰し、このとき生じた気泡により油圧が十分に伝わらず、結果ブレーキの効き が悪くなる「ベーパーロック現象」もあります。

こうしたフットブレーキの弱点を補うのが、エンジンブレーキです。

エンジンブレーキは、エンジンの抵抗を利用して減速させる方法です。アクセルペダルから足を離すと、タイヤの回転力でエ ンジンを動かしている状態になり減速します。

低いギアになるほど強い減速力が働くのも特徴です。近年増加してきたハイブリッド車や電気自動車においても、 の奥にあるパドルシフトやシフトレバーのMTゲートで操作して任意でギアを選択可能。1段低いギアに落とすことでエンジン ブレーキを利かせることができます

時折、道端にあらかじめエンジンブレーキ使用を推奨する看板をみかけることもあります。そうした場面や、長い下り坂が





新車・中古車・未使用車・自動車保険なんでもおまかせ◎ Mr.車manまでお気軽にお問い合わせください!

*まんスタッフ



、 ミスター車マンではインスタグラムで様々な情報をお届けしてます。 @MR_SHAMANで検索!ぜひフォローしてください◎ ハロウィンの季節がやってきた!といっても私は仮装をするわけでも なく、ただただ毎年お菓子を楽しく食べる日になっています。。。









ミスターシャーマンお客様相談室 1000120-89-0255